

# 第60期 中間株主通信

2023.10.1 ▶ 2024.3.31



## ご挨拶



代表取締役会長 今井 博文 代表取締役社長 岩井 孝之

令和6年能登半島地震により、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年2月、経済産業省は月経随伴症や更年期症状など女性特有の健康課題による経済損失に関する新たな試算を公表しました。月経随伴症では約6,000億円、更年期症状では約1.9兆円と推計されており、日本では総労働力人口に占める女性の割合は年々増加し50%に迫る勢いの中で、このような女性特有の課題解決がますます欠かせない状況となってきております。

当社はこれまで、女性の一生に寄り添う製品のラインナップ拡充により、スペシャリティファーマとしての存在感を強めてまいりました。コアとする女性医療領域でできる貢献の幅が広がっている現在、経営理念として掲げる「成長」と「貢献」のサイクルを加速させ、日本のみならず世界の女性のwell-being向上に貢献してまいります。

## 財務ハイライト

POINT.1

上期連結売上高は、女性医療分野の主力製品の市場浸透が概ね順調に進捗し、前年同期比21.6億円増となりました。

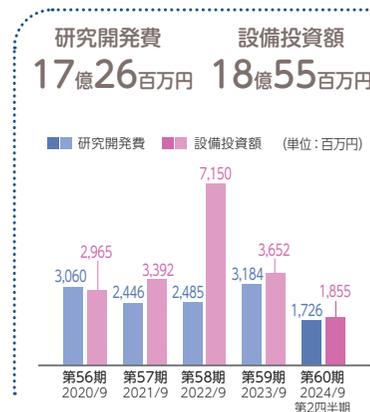
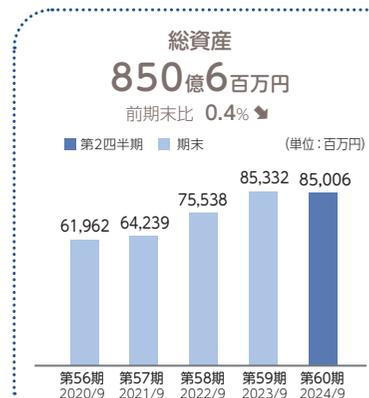
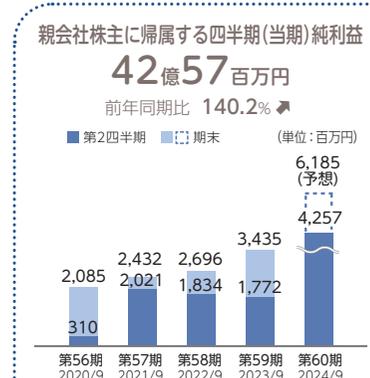
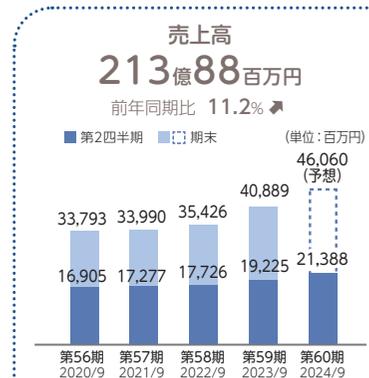
POINT.2

営業利益は研究開発費等の増加により前年同期比3.8億円減となりましたが、本業によるキャッシュ創出力の指標である、営業利益に減価償却費と研究開発費を足し戻したEBITDARは前年同期比2.2億円増となりました。

POINT.3

親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券の売却益などを特別利益に計上したことにより前年同期比24.8億円増となりました。

※ 2022年9月期より会計基準を変更しております。



## Top Message



# 中期経営計画達成に向けて成長の種を結実させ、さらなる社会貢献につなげます。



代表取締役社長 岩井 孝之

### 2024年9月期第2四半期の業績と成果

2024年9月期第2四半期の業績は、連結売上高21,388百万円(前年同期比11.2%増)、連結営業利益1,443百万円(前年同期比20.9%減)となりました。計画比では期首に見込んだ一部主力製品の処方獲得の遅れにより連結売上高は9.6%減、連結営業利益は29.6%減となりました。

当社のコア事業である女性医療領域においては、主力製品の市場浸透がおおむね順調に進捗し、連結売上高が増加しております。昨年10月に「FSN-013」の日本における製造販売承認申請が完了し、今年秋の承認取得を見込んでおります。本製品は2023年5月よりASEANのタイにおいて当社の子会社であるOLIC(Thailand) Limitedが「Nextstellis™」として販売をしており、タイ以外のASEAN諸国での販売については、提携先との協議を続けております。本年1月には、田辺三菱製薬株式会社からコレバイン®およびサーファクテン®、アザニン®を、それぞれ女性医療領域と消化器領域のラインナップに加える承継契約を締結しました。サーファクテン®は、周産期・母子医療で用いられ、当社のコアとする女性医療領域から周辺領域への展開の1つとなります。

また急性期医療領域においては、本年1月に「レナリドミドカペセル[F]」が、2月に「ランジオロール塩酸塩点滴静注用[F]」が発売を開始、同じく2月に「スガマデクス静注液[F]」が製造販売承認を取得いたしました。

なお、期首に見込んだ一部主力製品の処方獲得の遅れなどにより、業績予想を修正しておりますが、下期は計画どおり進捗することを見込んでおります。

### 中期経営計画の進捗と次期中期経営計画

今期は2024年9月期末を区切りとする現中期経営計画の最終年度です。

女性医療領域では、「FSN-013」が今年秋の承認取得を見込んでいるとともに、今後当社がより一層注力していく更年期分野では「PH-80」「FSN-014」など女性の更年期障害治療の選択肢を広げるための製品開発検討も進めております。また、次の当社成長の柱であるバイオシミラーにおいては、ウステキヌマブBS皮下注「F」に続き、新規3製品の9月申請に向けて準備を進めております。

また現在、次期中期経営計画の策定プロジェクトに部署横断で取り組んでおります。当社が歩んできた歴史を振り返り、その中で培ってきた資産を再認識するとともに、今後より広げていきたい貢献分野と実現シナリオを検討しております。

今後スペシャリティファーマとしてますます存在感を強めていくために、着々と新たな方針を準備しております。

今後も株主の皆さまにおかれましては、当事業の持続的な成長とさらなる社会への貢献にご期待いただき、長期のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 新製品開発(パイプライン)



※時間軸は当社目標時期 ※Product F 開発中止

### Topic

#### 11年振り2製品目のバイオシミラー薬価基準収載

2024年5月、既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、乾癬性関節炎を効能効果としたウステキヌマブBS皮下注シリンジ「F」が薬価基準に収載されました。

本剤は、2013年5月に発売したフィルグラスチムBS注シリンジ「F」に続く2製品目のバイオシミラーで、2018年11月に当社とAlvotech社(本社:アイスランド)との間で条件合意したバイオシミラーパイプラインにおいて初めての製品です。

バイオシミラーは開発に長い期間と膨大な費用を要しますが、高品質な製品をいち早くお届けできるよう、ハードルに挑み続けます。

2024年5月21日当社リリース



## 人財への取り組み

外部環境の変化が複雑化し、当社が直面する社会的環境も大きく変化しております。それらの課題に対応していくことのできる体制および人財を育むべく、昨年10月、約11年ぶりに大幅な人事制度の改定を行いました。成長に対する適切な評価の徹底、経営・管理職人財の育成などを重要なテーマとして掲げ、等級制度や人財要件の見直しを実施いたしました。当社は、創業より「富士製薬工業の成長は私たちの成長に正比例する」という理念のもと、社員一人ひとりが人として成長できる環境を提供し続けることを経営において最優先しております。今後も新たな人事制度と、これまで軸としてきた徳目評価によって、魅力的な人財を育て、より大きな貢献ができるよう推進してまいります。



## 新たな福利厚生『低用量ピル・更年期障害治療薬の補助制度』を開始

本年4月1日より、当社はあらたな福利厚生制度として全女性社員を対象とした補助制度を開始いたしました。

当社は、コア領域として女性医療用医薬品に注力してまいりましたが、2023年9月期末では売上高の44%を本領域が占め、まさに「女性医療のスペシャリティファーマ」であると自負しております。製品を通じて、女性たちが毎日をもっと健やかに、生き生きと過ごすことができる世界づくりを目指し、貢献しております。一方、日本では様々な調査で月経経閉症や更年期障害など女性特有の健康課題によって不調を感じたり、パフォーマンスの低下が起きている女性が多くいらっしゃり、経済損失も大きいものとなっております。当社においても女性従業員数が約45%を占める中、このような健康課題に対する対処方法へのハードルを下げ、適切な対処を行う機会が増えることが重要と考え本制度を導入いたしました。

世界の女性のwell-beingはもちろんのこと、女性社員の健康課題に寄り添い、能力をさらに発揮しやすい職場づくりを推進してまいります。



## 統合報告書2024を発行しました

本統合報告書は、株主・投資家の皆さまをはじめとしたすべてのステークホルダーの皆さまに対し、当社についてより深くご理解いただくことを目的として発行する報告書です。当社ホームページ上で公開しておりますので、是非ご高覧ください。



Top>サステナビリティ>統合報告書

<https://www.fujjpharma.jp/sustainability/integrated/>

### 株主メモ 富士製薬工業株式会社

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会：毎年9月30日 期末配当金：毎年9月30日 中間配当金：毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) <a href="https://www.fujjpharma.jp/ir/announce/">https://www.fujjpharma.jp/ir/announce/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合には、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先 ☎ 0120-782-031 ホームページ <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 プライム市場

### IRに関するお問い合わせ

本社/経営戦略本部 経営企画部 経営企画課

〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7 泉館文人通り6F  
TEL:03-3556-3344 FAX:03-3556-4455  
<https://www.fujjpharma.jp/>



見やすいユニバーサルフォントを使用しています。

